

# ネイチャーセンターだより 新春号



## 冬のイベント & 展示会

### お詫びと訂正

12月号でお知らせした  
「ワシワシ・カラ・ケラ ウォッチング！」  
の開催日に間違いがありました。  
2004年1月25日(日)ではなく、  
正しくは2004年1月18日(日)です。  
皆様にはたいへんご迷惑を  
おかけいたしました。

### 「おもしろい花々の顔」～小樽で出会った植物をめぐる色々なお話～

【日 時】2004年1月9日(金)～2月1日(日)  
【場 所】春国岱ネイチャーセンター内  
【内 容】

歴史ある古い町小樽は、美しい運河や煉瓦造りの建物が有名ですが、その陰で植物や動物達も、とても面白い顔を見せています。今年の春、根室から小樽に移住した作者松下(宮野)和江の目を通して、小樽で咲く花々を中心に、自然にまつわる話を、エッセイとユーモラスなイラスト、写真で紹介します。

### 冬の鳥たちのたくましさをウォッチング！ 「ワシワシ・カラ・ケラ ウォッチング！」

【日 時】2004年1月18日(日)  
9:30～12:00  
【対 象】どなたでも  
(小学生以下は保護者同伴とします)  
【申込み】前日までに電話か直接センターへ  
【定 員】先着20名  
【注 意】寒い季節ですので防寒着を。  
【内 容】

真冬、静まりかえったような風蓮湖とそのまわりの森、いよいよ、厳しい冬を乗り越えるために、たくましさを秘めた知患者やちゃっかり者の鳥たちが元気に生きています。そんな風蓮湖周辺で暮らすワシやカラ類と呼ばれる小鳥たちに会いに行きましょう。

### 冬にしか味わえない野生動物たちとの出会い！ 「春国岱・氷の原野横断トレッキング！」

【日 時】2004年2月1日(日)  
9:30～15:30  
【対 象】高校生以上の方  
【申込み】前日までに電話か直接センターへ  
【定 員】先着20名  
【注 意】約10km歩きます。寒い季節ですので  
防寒着を。弁当持参  
【内 容】

氷に閉ざされた春国岱と風蓮湖。氷の上を歩けるため、野生の生きものたちの聖域に唯一入り込むことが許される時期でもあります。春国岱の森、湿原を横断しながら、その奇跡を訪ねる雪上トレッキングです。

### イベントの申込み・問い合わせは・・・電話でネイチャーセンターへ！

ネイチャーセンターのイベントはすべて無料で、申し込み制になっております。また、イベントによってはみなさんに用意してほしい服装や道具などがありますので、参加を希望される方はかならず受付期間内に電話(0153-25-3047)か、直接ネイチャーセンターのカウンターでお申込みください。



## おもしろ自然コーナー



コオリガモ

### 海カモウォッチング！

寒さが厳しくなってくると、秋から冬にかけて風蓮湖や温根沼の湖面をにぎわしていたオオハクチョウやカモの仲間は南へと旅立っていきます。このオオハクチョウやカモの仲間は風蓮湖ではアマモという水草を食べます。水草を主に食べているカモの仲間は一般的に「淡水ガモ」と呼ばれています。風蓮湖にはカモの餌となるアマモがびっしりと生えています。厳冬期には湖面は完全に結氷してしまうため、餌がとれなくなってしまいます。そのため、厳冬期は南へと渡っていきます。

しかし厳冬期にも根室にとどまって冬を過ごしていくカモの仲間がいます。「海ガモ」と呼ばれているカモたちです。この海ガモと淡水ガモは何が違うのかというと餌の採り方脚のいちなどがじつは違っています。海ガモは主に魚や貝類などを食べます。魚や貝を採るために体をすぼっと水の中へ入れて潜水することが出来ます。ちなみに淡水ガモは首だけを水の中に突っ込んでいたり、脚をば



ネイチャーセンター

## 森で・NCで みよ、あそぼ

### 今月のネイチャーセンター

#### 餌台にやってくる鳥たち

餌台には、シジュウカラ、ゴジュウカラ、ハシブトガラ、キツツキの仲間のアカゲラ、コゲラが毎日やってきています。エゾリスもほぼ毎日、10時前に訪れます。時にエゾリスが2頭でやってくることもあります。そして、12月になってシメやシマエナガもやってくるようになりました。雪も降って森で餌が採りにくくなったのでしょうか。餌台レストランにやってくる種類も数も増えてきました。(H)



#### 道東の自然系施設に行ってみませんか

道東の11の自然系施設が協力して、共通展示を設置して自然情報を発信しています。各施設の旬の自然情報や、施設情報が閲覧できるようになっています。根室から道東の他の地域へ遊びに行く前にチェックしてみてください。自然系施設にはその地域の自然について熟知したスタッフがいますので、お勧めのポイントを聞いてから外へ出てみましょう！(H)

たつかせながら逆立ちをしたりして餌を採ります。また海ガモは水の中をうまく泳ぐために、脚が淡水ガモに比べてやや後ろのほうについています。この脚のおかげで前方へ力強く進むことが出来ます。その代わり陸地を歩くのはバランスが悪いせいか、へたくそです。

この海ガモたちは双眼鏡を使って探してみると根室の海辺では海上に浮かんでいるところを比較的簡単に見つけることが出来ます。真っ黒な体に黄色の鼻が目立つクロガモ、おにぎり頭にほほの白色が特徴的なホオジロガモ、「アオナー、アオナー」と鳴き声がとてもあいきょうのあるコオリガモ、ピエロのような顔をしたシノリガモなど、とてもきれいなカモたちを観察できると思います。この時期しか観察できないカモたちがほとんどです。コートを着て厳冬の海へ行ってみませんか。(H)



ホオジロガモ



クロガモ

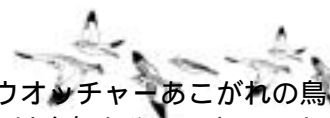
### 自然のみどころ情報

#### 風蓮湖は・・・？

今年は12月後半になっても、まだ風蓮湖が結氷していません。もう春が来てしまったのでは、と思ってしまうような暖かい日もありました。湖が結氷しないと、冬期に風蓮湖で行われる氷下待網漁に影響がでえます。氷が薄くしか張っていないと危なくて、氷上を歩けないですもんね。漁師さんがなげっていく「雑魚」をねらって集まってくるワシ類の仲間は餌がとれないので、あまり集まってこないかもしれません。昨年はオオワシ、オジロワシあわせて1000羽以上やってきていましたが、今年はどれくらいやってくるでしょう？(H)

#### ユキホオジロ

全国のバードウォッチャーあこがれの鳥、ユキホオジロ。春国岱には今年もやってきています。先端部のハマニンニクの草原でくらしています。北国ならではの冬の鳥たちに会いに行こう。(H)



こんにちは！

# 春国岱の自然情報板

## エゾシカ

エゾシカは一年中春国岱に生息していますが、冬になると数が増えて、ネイチャーセンターからもよく見かけるようになります。夕方になると森からでてきて春国岱の海岸の草原で採餌をしています。



## ユキホオジロ

今年も春国岱にユキホオジロがやってきています。春国岱先端部のハマニンニクの草原に20羽ぐらいの群れています。



## オオワシ・オジロワシ

オオワシ・オジロワシの数が増えました。オオワシは春国岱のアカエゾマツの森にとまっていたり、時にネイチャーセンターのすぐ近くを悠然と横切って春国岱の森へ向かっていく姿を見かけます。また、ハンティングをしているオジロワシの姿も見かけます。カモメの群れに飛び込んでいくも、いつもすれすれで逃げられてしまっています。

風蓮湖

アカエゾマツコース

キタキツネコース

展望台

ヒバリコース

R44

## 小鳥の混群

自然学習林や春国岱の森を歩いていると、小鳥の群れに出会うことがあります。この時期は違った種類の小鳥が群れています。シジュウカラやハシブトガラのカラ類とキバシリ、キクイタダキなどの小鳥と一緒にいることもありますよ。



オホーツク海



ネイチャーセンター

小鳥の小道

自然学習林

## 餌台は・・・

ネイチャーセンターの窓辺に設置した餌台にはシジュウカラ、ゴジュウカラ、ハシブトガラ、コゲラ、アカゲラ、シメなどの小鳥が毎日やってきています。また12月中旬になってマシュマロのようなかわいいシマエナガもやってきました。エゾリスは午前10時までに来ているようです。

## いまから・これから・自然予報

夏の終わりから秋、湖をにぎわしたオオハクチョウやカモ類が南へ渡り、オオワシやオジロワシが少しずつ増えてきました。風蓮湖や温根沼周辺の湖面や森を観察していると、ワシ類の大きな姿を観察できます。ワシ類の仲間は、例年は1月に入ると、一気に増えますが、今年は湖の結氷が遅れているので、渡来数にも影響がでるかもしれません。

春国岱の草原では、ネズミを食べるノスリやハイイロチュウヒなどのタカ類も見られます。先端部の草原にはユキホオジロがきています。森を歩けばカラ類、などの小鳥たちの混群にであえるでしょう(H)。

## 海・森・湿原からの手紙 ~人とタンチョウの距離~

2002年31羽、2003年26羽。これは何を表す数字だと思いますか？実は1年間にタンチョウがケガや病気で保護されたり、死体が収容された数なんです。根室地方のタンチョウは、春から秋にかけて湿原で子育てをすると、冬にはほぼ全てがいなくなります。凍りつき餌がとれなくなった湿原から、阿寒町や鶴居村へ移動し、人が餌をまく給餌場で集団で過ごすのです。タンチョウの事故は、秋から冬にかけて多発します。

50年前に十数羽しかいなかったタンチョウは、冬の間の給餌が成功して、今では900羽以上に増えました。そしてタンチョウは人間を怖れなくなり、人里で過ごすことが多くなるにつれ、電線事故や交通事故が増えました。タンチョウは電線のそばを飛ぶ時、電線の目の前に来てから高度を上げ、高飛びのように電線を越えると、また高度を下げます。このような飛び越え方をするため、時には電線に当たり落下し、7mほど下の地面に激突します。その時に翼や足、首を折ってしまうのです。

30年ほど前に越冬地で電線事故が多発した時は、電線が枝にこすれないようにつける黄色いカバーを、電線を目立たせるためにつけて、再発を防ぐ

ことができました。しかし最近では、以前はなかった場所で新たに事故が起きたり、カバーをつけた電線のそばでぶつかったりしています。さらに電線と電話線の間、2mほどのすき間を通り抜ける様子も見られます。電線事故が再び増えたのも当然です。越冬地では、人とタンチョウの距離が近過ぎるように思います。

春国岱では、アサリを掘る漁師さんの後ろでタンチョウが餌を探している風景が見られます。両者の距離はどのくらいでしょうか。お互いにその存在は認めながら、無関心でいるようです。タンチョウも人間も同じ自然の恵みで生きている。厳しいけれど生きていくのに必要な恵みを与えてくれる自然。その中である程度の距離を保ちながら繰り返される、人とタンチョウの暮らし。春国岱は、日本では数少ない「人とタンチョウの間に良い距離がある」場所だと感じています。(0)



### 春国岱ネイチャーセンターの 団体利用のおすすめ

春国岱ネイチャーセンターは団体で楽しくご利用いただけます。たとえば...

春国岱の四季を紹介するスライド上映を見学して、自然についてレクチャーを受けたり(25分)、根室の自然や動物についてさわれる標本やゲームで楽しく学ぶことができたり(20分~1時間)、20名までの自然学習が目的の団体なら、春国岱や学習林で野外での解説を受けたり(1~2時間)、自然やテーマによっては、レンジャーの出前講演なども可能です(要申込・日程調整)。

...学校団体で、子供会で、サークルで、ぜひご利用ください。

\* 利用には申込みが必要です。詳細はネイチャーセンター(25-3047)までお問い合わせください。

### 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 根室市東梅 103 番地  
TEL 0153-25-3047 FAX 0153-25-8570

- ・入館無料(双眼鏡無料貸し出しあり)
- ・開館時間 4月~9月 9:00~17:00  
10月~3月 9:00~16:30

・ホームページ  
[http://www.marimo.or.jp/nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/nemu_nc/workn/index.html)  
・e-mail : [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

2003/12発行

### 1月・2月の休館日

\* 毎週水曜日はネイチャーセンター休館日です\*

<1月>

休館日:1~5日、7、13、14、21、28日  
13日は12日成人の日の振替です。

<2月>

休館日:4日、12日、13日、18日、25日  
12日は11日建国記念の日の振替です。  
13日は11日(水)が祝日のため休館です。